

「錦川清流線あり方検討報告書」に対する意見聴取

○実施概要

(1) 実施目的

- ・ 報告書に対する意見を聴取し、今後のあり方を検討する上で参考にする

(2) 意見聴取期間

- ・ 令和7年5月13日（火）～6月13日（金）の一か月間

(3) 報告書閲覧可能場所

- ・ 岩国市役所 3階 交通政策課 窓口
- ・ 岩国市役所 2階 情報コーナー
- ・ 各総合支所 地域振興課 窓口
- ・ 各支所 地域振興班 窓口
- ・ 各出張所
- ・ 中央図書館
- ・ 交通政策課ホームページ

(4) 意見の提出方法

- ・ 郵便
- ・ Fax
- ・ Eメール
- ・ 各窓口へ直接提出

(5) 提出内容

- ・ 提出人数

意見内容	人数
企画提案	3 人
存続希望	19 人
計	22 人

・提出者内訳

年齢 住所	30 歳 以下	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上	合計
岩国		1	1	2		1	5
錦		2	7	1	2	2	14
美川					2	1	3
合計		3	8	3	4	4	22

No.	地域	年齢	意見分類	意 見 内 容
1	岩国	60歳代	企画提案	企画を増やして努力して欲しい。 利用促進ばかりPRしても厳しい。流れを作ってください。 例：清流線を使って錦町・岩国市内で飲食（割引特典付き）。 着付けをして散策（お弁当、着付け、お土産付き）
2	美川	60歳代	存続希望	錦川清流線が運行している玖北地域は非常に高齢化率の高い地域。 地域の移動手段は、自家用車、バイク、自転車、生活交通バス、タクシー、錦川清流線、徒歩などがありますが、市の中心部への移動は、約1時間掛けて自家用車、錦川清流線での移動となります。 運転免許証をお持ちでない高齢者の方は、高齢者活き行きサポート事業でタクシー券が利用できるが、タクシー事業者が錦町と美和町に1事業者ずつしかなく（本郷タクシーもあるが車両が1台しかない）、市の中心部と比べて長距離の移動となるためタクシー料金が高額となる。 高齢者の方が、免許証を返納した場合、自由な移動手段がなくなること、また、長距離の移動によるタクシー料金の負担増等から免許証の返納を躊躇される方もいらっしゃるからタクシー券の恩恵を受けることができない状況になっていきますので、タクシー券を錦川清流線で利用できるようになれば清流線が利用しやすくなるのではないのでしょうか。 市の中心部を結ぶ国道187号は、走行車線が狭く、くねくね道であることから、運行時間の倍増（片道約2時間）、交通事故の危険性、運行の定時性、トイレの休憩等の問題もあります。 錦川清流線は「錦川清流」に沿って運行しており四季折々の風光明媚な風景は多くの観光客に喜ばれている。また、終点の錦町では、まちぐるみで観光客を受け入れ、地域の活性化の一助となっている。 錦川清流線は、玖北地域唯一の長距離の公共交通機関であり、玖北地域にとっては、重要な交通手段であることから地域住民の交通手段を確保するための財政負担はやむを得ないと考えますので、錦川清流線の存続について、市当局のご配慮を強くお願いします。
3	美川	60歳代	存続希望	比較的市の負担が抑えられる、みなし上下分離方式で存続させるのが最善だと思う。 錦川清流線は、地域交通網を維持する役割とともに岩国市周辺部の雇用の確保、地域の活性化にもつながる役割を担っているため廃止には反対します。 鉄道の一部をバスに転換した場合、将来的にバスの運転手の確保ができなくなり、結局錦町から北河内までのバスもいずれ廃止されるのではないかと。現在でさえ、全国的に運転手の確保が困難になっていると聞いているので、運転手が不足してきた時、そのしわ寄せがこの路線の廃止に向けられるのではと考えている。 鉄道が廃止されれば、周辺部の人口減少は加速的に進み、市としては交通対策とは別の分野での維持コストの増大が予測されるため、岩国市のトータルの負担軽減には繋がらないと思う。 錦町から岩国駅までバスと鉄道を乗り継いで行くと2時間ぐらいかかりそうなので、利用者は余計いなくなり、高齢者の外出意欲が減少し、寝たきりの増加、福祉分野のコストの増加にもつながり、周辺人口がいなくなるとインフラ維持のための市のコストが増える可能性がある。もっとも、岩国市の方針が周辺部を切り捨てるということなら、各種分野のコストは削減されると思うが、「いきいきと暮らすまちづくりを目指す」市の在り方としては問題だと思う。
4	岩国	40歳代	存続希望	河内小と杭名小の統合が決定しており、令和10年に錦川清流線の「南河内駅」近くの岩国西中学校敷地内に統合した小学校が併設される。将来的には他の校区からも通学可能な「小規模特認校」という制度を利用できればと思っているが、認められた際には、現在の校区内外から学生が通学してくる。そこで、通学手段として錦川清流線が存続しているということがとても重要になる。私たちの地域の小中一貫学校のためにも、錦川清流線はとても大きな課題です。 小中一貫校の先には高校進学もある。その際にも、私たち地域の子供達も、錦川清流線を通学手段として使うことになります。 子ども達と地域の未来のために、錦川清流線の存続をよろしくお願いします。
5	岩国	70歳以上	存続希望	錦川清流線がなくなると玖北地域、沿線地域は急速に衰退していくのでは。沿線地域の移動手段や観光資源としても非常に重要と思うので、錦川清流線の価値を今一度認識していただきたい。そういったことを考慮して、錦川清流線のあり方を検討していただきたい。
6	錦	70歳以上	存続希望	清流線について、財政面で議論することは、人口減、高齢化の今、あり方の検討報告書を見ても存続は不可能であるとし読み取れない。錦町は合併から人口が半減、今や2千人を切り、高校はなくなり、病院は医院へとすべてが衰退となっている。これで清流線がなくなれば生活の火は完全に消滅する。鉄道の収入増は限界がある。ここは行政の責任で1億円程度は職員の削減で捻出し、あと10年は現状で存続させ、沿線の風景として守っていただきたい。
7	美川	70歳以上	存続希望	美川町に住んでいる。今は免許があり、買い物、病院は自家用車を利用している。いずれは免許も返納し車も手放すと思う。その際の交通機関として錦川清流線は必須の交通機関になる。現在も年数回は利用している。市民の生活を守るためには、年間1億円以上の赤字を負担するのも自治体の使命ではないでしょうか。 今は錦川清流線が対象になっているが、生活交通バス、いわくにバス、防長バス、岩国～柱島航路についてもかなりの赤字補填をしているのではないかと思います。赤字だから減便、やがて廃止では過疎地域の住民は生活できなくなる。存続について考えてほしい。
8	錦	60歳代	企画提案	報告書でみなし上下分離方式が市の負担が一番少ないというのは理解できた。 しかしどの方式にもメリット、デメリットがあり、どれをとっても大幅な赤字改善とまではいかないこともわかった。 市にとって重い負担であることは理解できるが、清流線を失えば二度と戻ってこない貴重な鉄道資源、観光資源、岩国市の財産であることも、今一度よく理解していただいて、いくら検討しても人を乗せない、利用しない限り、何の前進もないので、腰を据えて、岩国市に錦帯橋があるように、錦川清流線課のようなものを作って、徹底的に観光客誘致、清流線利用促進、市内の小中学生に岩国市北部の自然体験や環境学習で利用させたり、米軍基地の隊員の利用を図ったり、利き酒列車を更にバージョンアップして大きな岩国酒祭りを展開するなど、ありとあらゆる手を打ってみたら、その後に広がる世界があるように思う。 また、副産物として周辺の観光地や特産品、あるいはUJIターン等にも波及効果があると思う。 とにかく単なるお荷物であるような発想からは何も生まれないし、これは岩国市の宝物なんだという覚悟と気概を見せていただきたい。
9	錦	50歳代	存続希望	清流線を残して下さい。錦地域が衰退していくことは目に見えている。行政が町のために守り、一生清流線を存続させてほしい。
10	錦	40歳代	存続希望	清流線は錦町に絶対必要。町民の足でもあるので、無くされると困る。 岩国で飲んでも清流線の最終で帰ることが出来る。 清流線は絶対残してほしい。

No.	地域	年齢	意見分類	意見内容
11	錦	30歳代	存続希望	清流線は錦地域にとってとても大事。高齢者が岩国の病院行くのに、清流線は大事。
12	錦	60歳代	存続希望	錦町を盛り上げるために色々なイベントを企画して実施している。錦帯橋周辺の観光地には目が行ってるが、岩国北部地域への関心は薄い。これまで清流線は旧市内と北部地域をつないできている。通勤通学で清流線の利用者を増やすのは沿線人口が減っていく中では無理と思うので、その目標を変えて、観光列車で残してほしい。
13	岩国	30歳代	存続希望	鉄道がなくなると町が衰退していくのが止められなくなる（学校などの教育等も含めて）。 税の投入については、難しい所もあるかもしれないが、錦町は岩国市の1/3以上の面積を占める大きい町であり、是非とも存続をし、錦町の火を消すのをやめてほしい。
14	錦	40歳代	存続希望	清流線を残してほしい。病院などに行くのに、また、観光のためにも必要と思う。
15	錦	40歳代	存続希望	清流線があることで地域のイベントが盛り上がっている。売り上げは赤字かもしれないが、町のシンボルであり、売上げ以外に、ものすごい必要性がある。清流線が存続することで、私たちは錦町でこれからもがんばれます。
16	錦	70歳以上	存続希望	清流線を他の公共交通機関に置換えるには、より大きな設備投資、維持費、人件費等が掛かるのは明白です。また、安全面から考えた場合、そのポテンシャルは明白です。 国道187号の迂回路としての清流線の持つ役割はとても大きいと思う。 他の公共交通機関に代替えるにしても、清流線がなくなる事は錦地域の住民が住み続ける価値、意義を大きく損ない、更なる人口減、そして地域の消滅等大きな損失となる事は間違いないと思う。 税金を投入する事は他の市民に対してより大きなリスクとなり、ある意味不平等につながる事は理解できます。しかし、その不平等を認めるのも行政の大きな役割ではないでしょうか。岩国市民として錦地域で市民らしく生きて行く権利を奪わないで下さい。
17	錦	30歳代	存続希望	錦町内には高校もなくなったので、遅くても高校からは通学に絶対必要になってきます。もし、なくなってしまったらどうやって通えば良いのでしょうか。いろいろな問題もあると思いますが、子ども達の未来も大事です。この町で安心して成長させてあげたい。
18	錦	40歳代	存続希望	清流線を一生守ってほしいと思います。赤字だからという考えも理解していますが、黒字化するための改善策を行政も真剣に考えてほしいと思います。 錦町にとって清流線の役割はとても大きいです。広瀬分校の閉校、病院の縮小、その上、公共交通まで縮小すると錦町はますます衰退します。
19	錦	40歳代	存続希望	清流線を今のまま残してください。 通学の足として清流線を廃止するのは錦町で育った子供の進学の実選択肢が奪われるので残してください。
20	錦	40歳代	存続希望	清流線を観光ヘシフトできるようお願いします。 私たちのふるさとを奪わないでください。
21	錦	40歳代	存続希望	個人的見解ですが、地方を残す意味というのはリスクマネジメントだと思う。清流線の問題も本質的に同じだと思います。清流線が無くなれば間違いなく税的負担は減りますが、その代わりに失うものもあると思います。
22	岩国	50歳代	企画提案	清流線のサイクルトレインについて、現在、期間限定で折りたたみ式自転車のみ可能ということですが、一年中通して自転車をすべて予約なしで乗り入れできるようにしては。更に沿線道路（国道187号、2号）に広い自転車歩道を設ければ、他県からの利用者が集まり、沿線住民が活気付くのでは。